

赤木沢～黒部五郎～鷲羽岳～雲の平

【報告者】A山

【日時】2018年8月11～14

【天候】曇り、雨

【参加者】I藤 A山 (8.11～12A屋 Y川)

《コースタイム》

8/11 0900 折立～1030 太郎坂～1300 太郎平小屋～1530 薬師沢小屋

8/12 0510 薬師沢小屋～0700 赤木沢分岐～0708 ウマノ沢分岐～0850 大滝～0950 中俣乗越～1500 黒部五郎小屋

8/13 0510 黒部五郎小屋～0640 三俣蓮華岳巻道分岐～0830 三俣山荘～0945 鷲羽岳～1025 ワリモ岳～1055 ワリモ北分岐～1105 岩苔乗越～1205 祖父岳～1230 祖父岳分岐～1415 雲の平小屋

8/14 0550 雲の平小屋～0605 奥日本庭園～0640 アラスカ庭園～0740 薬師沢小屋～0755 カベツケが原～1020 太郎平小屋～1410 折立

《 報 告 》

今回で二度目の北アルプス、三回目の沢登りと、まだまだ技術も経験も未熟ですが、同行の皆様のサポートのおかげで日本有数の美しさで有名な赤木沢を体験することができました。

登山口は富山市折立。お盆の長期休みとあって駐車場は溢れかえっており、関東、関西、稀に九州と全国各地のナンバーが賑やかでした。パッキングを済ませたらいざ薬師沢小屋へ。太郎兵衛平での登りでは、コケモモがたわわに実をつけており、甘みがうれしい天然のエイドを楽しみました。森林を抜け、高山植物の豊かな気持ちのいい高原を少しずつ高度上げていきます。途中軽い熱中症のせい、足をひどく攣ってしまいましたが、I藤さんの芍薬甘草に救われました。太郎兵衛平で薬師岳など展望を楽しんだら、水分補給を済ませ薬師沢に向かって下っていきます。カベツケが原にでたら、歩き易い木道をひたすら歩くと薬師沢小屋に到着です。薬師沢小屋は薬師沢と奥ノ廊下の出合に建っており、沢沿いの小屋ということで水が豊富で飲料水も生活用水も気兼ねなく使用することができました。また運よくパーティで個室を使用することができ、連休にもかかわらずリラックスして明日に備えることができました。



翌日はいよいよ赤木沢です。小屋を出るとすぐに入渓します。黒部川奥ノ廊下は沢登というより沢歩きで、恐怖を感じることなく、赤木沢出合までのんびり進みます。人気の沢とあって、沢登のパーティ数組や溪流釣りの方がすでに入渓していました。赤木沢出合で小屋から支給された中華ちまきで朝食を済ませ、気合いを入れ直します。数少ない沢登の経験ですが、滑って落ちるのではと恐怖心が強く、本山行参加は不安ではなかったのですが、それは杞憂でした。澄んだ水、穏やかなナメ床、高山の花などどこを見ても美しく、また巻道も歩きやすく、沢登を楽しむことができました。すっかり安心して、釜にダイブしたり、イワナやヒキガエルを探して歩いたり、満喫しました。大滝では巻道を確保してもらいながら進みました。踏み抜けやすい草の茂ったところを避けながら一步一步慎重に進みます。恐怖ポイントも皆さ

んのおかげで安心して通過できました。美しい沢はあっという間に終わりです。名残惜しかったのですが、沢が過ぎると雪稜や高山植物など相変わらず美しい景色が続き、通り過ぎるのがもったいなく感じました。中俣乗越からは一般登山道で黒部五郎岳を經由して黒部五郎小屋を目指しゆっくりすすみます。黒部五郎小屋は綺麗で快適な小屋ですが、連休のため2畳3人と多少窮屈でした。しかし幸運にも黒部五郎岳でご一緒した福岡のパーティと同室で、楽しい夜を過ごしました。



翌日からはA屋さんY川さんと別行動です。終日雨予報だったのと私がばててたので、鷲羽岳を通る最短コースにしてもらいました。鷲羽岳では、遮るものがない中、ガレた急登の九十九折をただひたすら強風に耐えながらゆっくり慎重にすすみました。悪条件にもかかわらず同じように登る方が多く、励みになりました。I藤さんのアドバイスを頼りに、鷲羽岳、ワリモ岳、祖父岳と悪天候でも安全に順調にすすみました。悪天でしたが不幸中の幸い、祖父岳手前ではじめての雷鳥に出会いうことができました。



しかも雛を4、5羽連れたファミリーです。こういったご褒美があるから、しんどいときがあっても登山は楽しいと思えます。疲れと雨で、歩きやすいはずの木道を何度かツルリと滑り滑りしながら、雲の平小屋に到着。人気の小屋でしかも連休で、天候悪化も相まって、この日の小屋は大渋滞でしたが、疲れた私には快適に感じました。食後は小屋のオーナーで、黒部源流域の登山道開拓や山小屋設置に尽力された故伊藤正一さんの長男さんのお話に感激しました。黒部にとどまらず話は海外に及び、スポーツとしての登山だけでなく自然保護を重視しているかどうかによって国による国立公園の予算が違うことなどを学び、考えさせられました。買って満足していた『黒部の山賊』をちゃんと

読もうと思います。

最終日は晴天。まだ滞在予定のA屋さんY川さんと別れ、この日もゆっくりと名残惜しく景色を堪能しながらのんびり歩きました。下山後は白樺ハイツで入浴と仮眠。長時間続きの山行でしたがすっかり癒され帰路につくことができました。今回断念した水晶岳や、展望のいいはずの鷲羽岳にもまたいつか来たいと思います。

